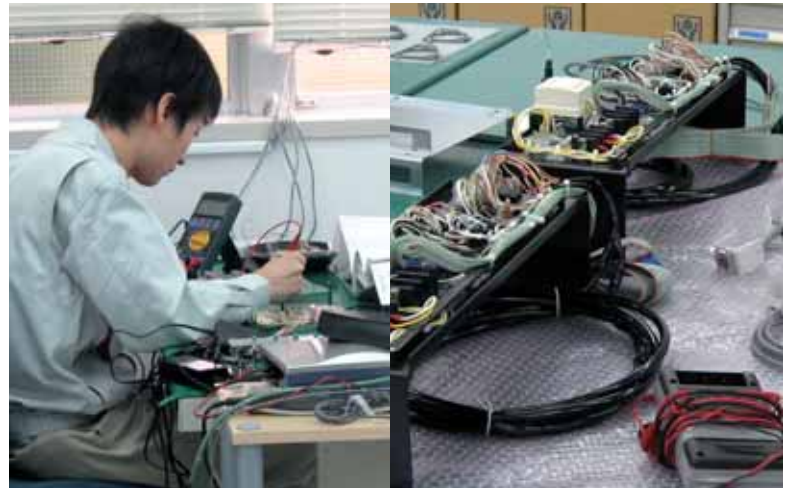


高性能・高耐久性を誇る 遠隔制御装置



株式会社大日電子

緊急時にも対応 各種遠隔制御装置

主に無線通信用の遠隔制御装置の設計から製作、保守までを手がける大日電子。開発機器が非常に多彩なのも同社の特長である。医療用ヘリコプターなどに搭載する「心電図電送システム」や「緊急地震速報装置」を日本で初めて実用化したという実績を持ち、ゴルフ場などで落雷を予報して知らせる「発雷探知警報システム」、列車無線や消防無線、防災無線、ダム放流警報システム等、各種遠隔制御装置および操作器を開発・販売している。その機器の信頼性は高く、大手電機メーカーとの取引を通して国土交通省や電鉄会社、警察署、消防庁等に納入されている。

信頼性の高い技術は 宇宙でも活躍

また、東大阪の中小企業や職人集団が力を合わせて作る人工衛星「まいていど」では、同社の技術がアマチュア無線制御部や雷のセンサー装置等に使われている。秋本日出夫社長は「打ち上げの振動に耐え、宇宙という過酷な環境でも正確に動くものを作るのは大変でした」と話す。真空環境でも問題なく動く、信頼性の高い装置の製作を可能にしたのは同社の高い技術力だ。

「部品の組み立てから、機器の設置、メンテナンスまで、すべて自社で対応できます。開発から設計、製作、販売、保守まで手掛ける会社は少ないと思います。また、試作コストを削減するために、早くから三次元CADやシミュレーションを取り入れています」と秋本社長。時間とコストを削減するために取り入れた技術が、宇宙でも活躍できる機器の製造に役立っている。

確かな開発力を生み出す 環境づくり

大学との産学連携研究開発にも積極的に取り組む、色を数値判定する「同色布見た目判定装置」や「LED照明光源研究開発」等、次世代のニーズに向けての技術開発も進行中だ。「提案力と小回りの良さで、小さく始めて大きく育てる」という精神で取り組んでいる。

「物づくり、人づくり、組織づくり、未来づくり」を掲げている同社。

「10人で始めて28年。少しずつ育ってきた結果が出ていると思います」と胸を張る秋本社長。社員は毎日始業から15分間、掃除をしているという。「遅刻は減り、会話は増え、隅々にまで気を配るようになりましたよ。整理整頓の行き届いた社内は、作業も効率化している。

今後の目標は、「毎日のことと、未来のことにバランスよく取り組むこと」。一つのことを追求するとともに、夢にも挑戦し続け、社会貢献できる企業を目指す。

主な事業内容

電気通信機器の設計・製造・保守、販売・工事
電気通信機器部品の設計・製作・販売、電子事務機器の販売・保守等



秋本日出夫さん
代表取締役

Company Profile

株式会社大日電子

住所 / 〒564-0053
大阪府吹田市江の木町12-27
設立 / 昭和56年6月
資本金 / 1,000万円
従業員 / 18名 (平成21年1月現在)
TEL / 06-6339-6229
FAX / 06-6339-6352

ISO 9001

<http://www.dainichi-el.co.jp/>

大阪
20